



平成20年2月4日

各位

会社名 株式会社 サンリツ
代表者の 代表取締役社長 山田 治
役職氏名
(コード番号：9366 東証一部)
問合せ先 執行役員企画部長 三角 岳 明
電話番号 03-3471-0011(代表)

中期経営計画『Power and Team Work』の修正について

当社は、2008年3月期第3四半期の業績をふまえ、平成19年12月25日発表の中期経営計画『Power and Team Work』（3か年計画）を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 修正計画

(1) 業績(単位：百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
連結売上高	17,500	18,500	20,000
連結営業利益	830	1,180	1,420
連結経常利益	800	1,140	1,360

(2) 経営指標

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
連結株主資本利益率 (ROE：%)	3.8	6.1	7.0

2. 当初計画

(1) 業績(単位：百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
連結売上高	17,600	18,500	20,000
連結営業利益	1,040	1,230	1,420
連結経常利益	1,010	1,170	1,360

(2) 経営指標

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
連結株主資本利益率 (ROE：%)	5.2	6.2	7.0

3. 修正理由

2008年3月期見込みにおきまして、連結子会社であります㈱相模協栄商会の業務取扱を眼目とした本牧パッケージングセンターの開設に伴い、受注はほぼ予定通りに推移いたしましたが、受注拡大に対する梱包事業の内製化が計画通りに進展しないこと、並びに出荷待ち貨物の保管増加が生じております。更に、中長期の事業拡大を視野に人員及び設備の先行投資を追加実行した結果、原価が当初見込みに対して増加することが見込まれます。

また、上記に挙げております原価増加の状況を改善するため、現在グループ全体で体制の見直しを図っておりますが、その影響の一部が2009年3月期に及ぶものと考えております。

以上のような状況を考慮いたしまして、中期経営計画の修正に至りました。

4. 今後の方針について

本計画を推進するにあたり、経営の基本方針、事業戦略並びに2010年3月期の目標経営指標における変更はありません。上記のとおり、本牧パッケージングセンター開設に伴う受注の増加は予定通りに推移しており、今後とも各戦略を確実に実行し収益性を高めてまいります。

以 上

なお、当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください